

# 事務事業評価シート

評価実施年度：平成29年度

上位の施策名称	施策I-2-1 売れる農林水産品・加工品づくり
---------	----------------------------

## 1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	林業課長 前島和弘	電話番号	0852-22-5167
----------	-----------	------	--------------

事務事業の名称	林業・木材産業制度資金融資事業		
目的	(1) 対象	林業者、林業・木材産業の事業者	
	(2) 意図	制度資金の融資により、林業者、林業・木材産業の事業者の経営安定や健全化を図る。	
事業概要	林業を巡る情勢の著しい変化に対応して、林業者、林業・木材産業の事業者の経営安定や健全化を図るためには、経営の近代化、資本の高度化などによる経営改善や合理化を推進する必要がある。このため、林業者、林業・木材産業の事業者に対して、林業・木材産業改善資金、木材産業等高度化推進資金、木材協同組合育成資金等の無利子又は低利な林業関係制度資金を融資し、林業・木材産業の健全な発展を推進する。		

## 2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名	貸付件数	目標値	10.0	10.0	10.0	10.0	件
	式・定義	改善資金件数+高度化推進資金件数+木協育成資金件数	実績値	8.0	4.0			
			達成率	-	40.0	-	-	%
2	指標名		目標値					
	式・定義		実績値					
			達成率	-	-	-	-	%

## 3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費(b) (千円)	85,699	190,723
うち一般財源 (千円)	0	17

## 4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	③改善策を検討中
---------------------	----------

## 5. 評価時点での現状 (客観的事実・データなどに基づいた現状)

- 林業木材産業改善資金の貸付実績はH27：4件の24,360千円、H28：1件の8,280千円となっている。
- 木材産業等高度化推進資金の貸付実績はH27、H28とも0件となっている。
- 木材協同組合育成資金の貸付実績はH27：4件の168,000千円、H28：3件の125,000千円となっている。
- 民間銀行の金利引き下げや国庫補助事業の補助対象者等の拡充などにより、資金貸付の要望が少なくなっている。

## 6. 成果があったこと (改善されたこと)

- 目標貸付件数には至っていないが、貸付希望者が必要とする資金について、適切な貸し付けができた。
- 改善資金1件 (グラップル)
- 木協育成資金3件 (素材共同購入資金等3件)

## 7. まだ残っている課題 (現状の何をどのように変更する必要があるのか)

### ①困っている「状況」

民間銀行は低金利化してきているものの、それでも利息の支払いは経営圧迫の要因となっている。

### ②困っている状況が発生している「原因」

- 木材価格の長期低迷により、採算性の確保に苦慮。

### ③原因を解消するための「課題」

総合戦略等に掲げる原木増産や、加工品の県外出荷を進めるため、規模拡大や新製品の開発にチャレンジする事業者等に対する無利子改善資金等の一層のPR

## 8. 今後の方向性 (課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方)

- 県内では原木生産が増加しており、木材加工品の県外出荷等も増える中、事業規模を拡大する事業者や共同で出荷する事業者、そして新たに参入する事業者や新製品を開発する事業者等のさらなる増加を図り、こうした事業者に対し各種資金の一層のPRに努め、適時適切な貸し付けに努める。
- また、新規参入する事業者の中には比較的小規模経営の事業者もあり、こうした事業者へも積極的な融通により規模拡大を支援する。